

今後について

1 今後のスケジュール

- ・愛知県栄養塩管理検討会議報告書及び概要版は HP での公表を予定（2024 年度内）

2 愛知県栄養塩管理検討会議について

- ・2 年間の社会実験の効果を検証し、その結果を踏まえた今後の方向性の検討により、海域ごとの漁業生産に必要な栄養塩濃度の提案や管理方策など、漁業生産に必要な望ましい栄養塩管理のあり方について整理され、設置目的が達成されたため、一旦終了とする。

3 今後の実施体制

（1）漁業生産に必要な栄養塩管理方策の実施

- ・社会実験を継続して実施するとともに（～2027 年度予定）、報告書 p. 29 図 4－3（資料 3 p. 11）に示す取組を着実に実施する。

（2）モニタリング等

- ・報告書 p. 28（6）に従い、環境への影響や漁業の状況のモニタリングを継続し、県関係部局による連絡調整会議等において結果を分析・評価する。
- ・漁業者及び管理運転の実施者等の関係者と、これらの結果について情報共有を適宜行う。

（3）見直し等

- ・科学的な知見の蓄積等により、栄養塩管理方策にかかる見直し等の必要性が生じた際には、順応的な対応とする。